



日本骨髄バンクの現状（平成 27 年 10 月末現在）

	9 月	10 月	現在数	累計数
ドナー登録者数	2, 296	3, 086	455, 799	652, 089
患者登録者数	238	239	3, 082	46, 342
移植例数	104	117	—	18, 813

■10 月年代別ドナー登録者数（現在数）

10 代	2, 763 人
20 代	70, 381 人
30 代	143, 174 人
40 代	187, 748 人
50 代	51, 733 人

■10 月の 20 歳未満の登録者 306 人

■10 月の区分別ドナー登録者数：献血ルーム／646 人、献血併行型集団登録会／2, 311 人、集団登録会／68 人
その他／61 人

■10 月末までの末梢血幹細胞移植（PBSCT）累計数：130 件

注）数値は速報値のため訂正されることがあります。

1 非血縁者間末梢血幹細胞移植（PBSCT）に関する条件緩和（国の審議会結果）について

10 月 23 日に第 46 回厚生科学審議会疾病対策部会造血幹細胞移植委員会（審議会）が開催され、非血縁者間末梢血幹細胞ドナーの条件、および末梢血幹細胞採取中の医師の常時監視について、下記（1）～（3）の方針が妥当とされました。

この結果を受けてコンピューターシステムの改修等、準備を進めています。（1）、（2）の運用開始時期および運用方法は次号のマンスリー JMDP でお知らせします。（3）のみ 12 月 1 日から運用を開始します。詳細は、コーディネート関係者のコーナーをご覧ください。

<PBSCT 条件緩和の方針>

- 「ドナーが患者と HLA 遺伝子レベルで 8/8 一致であること」について、非血縁者間骨髄移植と同様に「1 抗原不適合（5/6 抗原一致）」の移植を認めること
- 「ドナーが末梢血幹細胞採取施設に通院可能であること」について、通院可能距離の制限を撤廃すること
- 「末梢血幹細胞採取中の医師の常時監視」について、アフエレーシスは 2 人以上で実施し、末梢血幹細胞採取中は熟練した医師または看護師が常時監視すること

2 骨髄バンク推進月間報告

10 月の骨髄バンク推進月間に全国各地でドナー登録会やキャンペーンイベントが開催されました。10 月のドナー登録者数は 3, 086 名で、昨年同月比 277 名増という結果でした。ドナー登録していただいた皆さま、ご協力いただいた関係者の皆さまに、感謝申し上げます。

また、10 月下旬から 11 月初旬にも様々なイベントが実施されました。

◆「あなたに～伝えきれない『ありがとう』～」

10 月 18 日（日）、名古屋市東文化小劇場で骨髄バンク普及啓発公演「あなたに～伝えきれない『ありがとう』～」が上演されました。主催は認定 NPO 法人「あいち骨髄バンクを支援する会」で、出演者やスタッフを公募し、演劇を通じて白血病・骨髄バンクについての知識を広め、ドナー登録の必要性（特に若年層）への理解を深めていただきました。また、上演後には、出演者も参加してパネルディスカッションが行われました。

◆東京モーターショーでドナー登録会

東京ビッグサイト（東京都江東区）にて 10 月 31 日（土）から 11 月 8 日（日）まで開催された「第 44 回東京モーターショー2015」の会場で、ドナー登録会が実施され、163 名の登録がありました。

◆Snow Bank Pay It Forward 2015

「Snow Bank Pay It Forward 2015」が 11 月 7 日（土）、8 日（日）に東京都渋谷区の代々木公園イベント広場にて開催されました。当イベントは、骨髄バンクを介した骨髄移植を受けて元気になったプロスノーボーダー荒井“daze”善正氏を発起人として 2011 年から始まり、今年で 5 回目となります。スノーボードを通じて若者を集め、骨髄バンクのドナー登録への理解とドナー登録数増進を目的としています。今回のドナー登録会では 64 名のドナー登録がありました。

3 2015 LIVE FOR LIFE 音楽彩、今年で 10 回目

急性骨髄性白血病で亡くなった歌手、本田美奈子. さんを追悼するコンサート「2015 LIVE FOR LIFE 音楽彩」が 11 月 3 日（火）に日本橋三井ホール（東京都中央区）で行われました。同コンサートは、本田さんが他界した 2005 年の翌年から開かれています。今年は本田さんのデビュー 30 周年で、没後 10 年目の節目の年でもあります。坂本冬美さん、松本伊代さん、早見優さんら、本田さんとゆかりのある 16 組の歌手が出演しました。骨髄バンク特設ブースで、来場者にチラシを配布してドナー登録を呼びかけました。

4 京都市など京都府内の市町村が続々ドナー助成制度を導入

京都市をはじめ、京都府内の 5 市町村で新たに骨髄または末梢血幹細胞を提供したドナーのための助成制度が導入されました。京都府の積極的な取り組みにより、現在、府内 9 つの自治体で助成制度が導入され、いずれも本年 4 月にさかのぼって助成を受けられます。

助成制度を導入した自治体は全国で 116 になります。制度の内容は各自治体によって異なりますので直接お問い合わせください。問い合わせ先は当法人のホームページをご覧ください。

【新たにドナー助成制度を導入した自治体】

○京都市 ○京田辺市 ○舞鶴市 ○久御山町 ○南山城村

5 「Message - 第 10 回骨髄バンク支援 研音チャリティーオークション」開催

俳優の唐沢寿明さんや竹野内豊さんなど研音に所属するタレントの皆様のご協力で 10 月 26 日～11 月 9 日の期間、「第 10 回 骨髄バンク支援研音チャリティーオークション」が開催されました。42 点が出品され、落札金は全額、当法人へご寄付いただきます。出品いただいたタレントの皆さま、研音グループ、そしてオークションにご参加いただいた多くの皆さまに御礼申し上げます。

6 今季も V リーグ試合会場でバンク支援がスタート

バレーボールの「2015/2016 V リーグ」が 10 月 17 日（土）に開幕しました。今季も全国の試合会場で骨髄バンク支援の V リーグ特製シールを配布します。また、来年 3 月の決勝戦では、特設ブース開設などの骨髄バンクイベントを予定しています。

7 ドナー向けの患者状況に関する冊子「My Life」を発行

このたび、ドナー向けの患者状況に関する冊子「My Life（移植を越えて）」を発行しました。発行のきっかけとなったのは、骨髄提供歴のあるドナーの家族からの「患者さんの移植後の状況を知りたい」との強い要望でした。当法人では外部の識者を含むワーキンググループを立ち上げ、骨髄バンク発足時から 20 年以上堅持してきた「移植後の患者さんの状況については非開示」とする考え方を改めて検討しました。その結果、「開示しない」という現行の考え方を維持しつつ、ドナーやその家族等の開示要望に一定程度応えるため「ドナー向けの患者状況に関する資料」を作成し情報提供することが決定しました。

造血幹細胞を提供いただいたドナーの方に、コーディネーターを通じてお渡ししてまいります。内容は、当法人ホームページ＞ドナー登録されている方へ＞移植を受けた患者さんの状況でご覧になれます。

なお、製作費はご寄付により賄われています。

8 当法人の会議等開催予定

◆会議の傍聴をご希望の方は、事前に当法人総務部までお申し込みください。

会議名	公開・非公開	開催予定
業務執行会議	公開・一部非公開	11月20日（金）17：30～廣瀬第2ビル地下会議室
業務執行会議	公開・一部非公開	12月18日（金）17：30～廣瀬第2ビル地下会議室
医療委員会	公開・一部非公開	12月20日（日）13：00～廣瀬第1ビル2階会議室

コーディネーター関係者のコーナー

以下は、医師およびコーディネーターの皆さまを対象としています。

9 非血縁者間末梢血幹細胞採取中の医師の常時監視に関する変更について <採取施設の医師の方へ>

これまで、アフエレーシス中は医師が常時監視することとされていましたが、前述の国の審議会結果を受け、次のとおり変更します。別紙をご確認の上、ご対応いただきますようお願いいたします。

■ 変更後

アフエレーシスによる末梢血幹細胞採取は 2 人以上で実施し、末梢血幹細胞採取中は医師または看護師が常時監視を行い、緊急時に熟練した医師が迅速に対応可能な体制を構築する。チーム医療の促進という観点から、熟練した看護師（日本輸血・細胞治療学会認定アフエレーシスナースが望ましい）と臨床工学技士の両者で実施することを推奨する。

■ 変更日：2015 年 12 月 1 日以降のアフエレーシスから



10 輸注開始後に骨髄液バッグ内で溶血が確認された事例について（第一報） ＜採取・移植施設の医師の方へ＞

この度、移植施設から骨髄液の溶血事例が報告（4 例目）されました。溶血の原因は不明です。

当該事例と過去事例の共通点は、移植施設において骨髄液が振盪保管されていたことであり、医療委員会としても重大な事実と受け止めています。そこで、今後の採取および移植における参考情報として報告します。

詳細については、別紙「輸注開始後に骨髄液バッグ内で溶血が確認された事例について（第一報）」をご参照ください。当法人ホームページ＞医師の方へ＞医師宛通知文でもご覧いただけます。

11 新たな HLA 適合検索評価点の変更に際しての検索結果の並び順について＜医師の方へ＞

本年 10 月 1 日から新たな HLA 適合検索評価点に基づく検索結果を主治医に報告してまいりましたが、10 月 16 日に一部、評価点の高い順になっていない検索結果報告書（以下、報告書）が含まれていることがわかりました。同日のステータスレポートでお手元の報告書を再度ご確認くださいよう注意喚起したところ、主治医の先生方が適切なドナーを選択されていることがわかりました。

ドナーと患者の HLA 適合検索は日本赤十字社が実施しています。現在、その HLA 適合検索結果は評価点の高い順になっていませんが、当法人のコーディネート支援システムで評価点の高い順に並び換えています。

12 連絡事項

◆年末年始の検体保存事業の受付について＜移植施設・採取施設の医師の方へ＞

年末 ⇒ 12 月 18 日（金）までに東海大学必着

※ 北海道・九州地区は 12 月 16 日（水）までに、それ以外の地区は 12 月 17 日（木）までに発送をお願いします。

年始 ⇒ 1 月 4 日（月）採血・発送分から受付可能

注）なお、やむを得ず上記期限を過ぎる場合は、別途調整が必要になりますので、必ず個別に東海大学医局担当までご連絡ください。その際、発送便の伝票番号も一緒にお知らせください。ご協力のほどよろしくお願いします。

◆年末年始の確認検査・再検査実施と SRL 予約について＜コーディネーターの方へ＞

ドナーがすでに HLA(DNA) の情報を持っているか否かにより、対応が異なります。どちらに該当するかは地区事務局から申し送りますので、それに従って日程調整をお願いします。

＜年末＞ ①確認検査（検査項目：一般血液検査と HLA ビーズ法）⇒ 12 月 25 日（金）採血分まで

②確認検査（検査項目：一般血液検査のみ）・再検査 ⇒ 12 月 28 日（月）採血分まで

＜年始＞ ①確認検査、再検査 ⇒ 1 月 5 日（火）採血分から

＜SRL の予約＞1 月 5 日～8 日採血希望の場合は、12 月 24 日（木）14：00 まで。